

暮らしのそばに いつもの水道

～100年先も安心を、未来へ続く水道水～

問 施設課 TEL 06-6991-6775

市は、令和6年4月から大阪市と庭窪浄水場の共同運用を開始し、旧守口市浄水場は、現在守口市配水場として稼働しています。浄水場施設は共同運用によって災害に強い施設となりましたが、配水場施設は、高度経済成長期(昭和30～50年ごろ)に多くの施設を整備してきたことで、老朽化が進んできています。

将来にわたって安全で良質な水を安定的に送れるように、長期的な「配水場施設整備基本計画」を策定しました。

守口市配水場の将来像を簡単に紹介します。



配水場ってどんなところ？

「浄水場」は、淀川の水をきれいにして安全な飲み水にするところで、「配水場」はきれいになった水を皆さんに送るための施設があるところです。代表的な施設として、配水池・配水ポンプがあります。

✓ 配水池…きれいな水を一時的に貯めておくコンクリート製の巨大なタンク

✓ 配水ポンプ…市内の端まで水を送り出すための力強いポンプ

本市には、八雲北町にある守口市配水場と、市の南部エリアを担っている東郷配水場の2カ所の配水場があります。「配水場施設整備基本計画」では、今後約20年かけて守口市配水場の施設を建て替え、その後に残った古い施設を解体撤去する予定です。

基本計画の主な取組み

✓ 施設の強靱化(耐震化率100%、自家発電設備の設置)

✓ 施設のダウンサイジング(配水池…32,500㎡→20,000㎡、ポンプ台数…10台→5台)



- 第1期工事(期間: R8年～R17年)
- 第2期工事(期間: R17年～R21年)
- 第3期工事(期間: R24年～R27年)
- 第5期工事(期間: R40年～R42年)

※第4期工事(期間: R28年～R32年)は、既存5号配水池(八雲北公園下部)および東郷配水場の撤去工事

配水場の完成予想図



水道局マスコットキャラクター
しずくちゃん・みちるくん



現在、守口市配水場には、配水池が6池、配水ポンプ施設が3施設、水道局庁舎などがあって、古いものから順番に新しく建て替えていくんだ。

みんなの家に水を送りながらの工事って大変だね！

配水場の施設も時代に合った大きさにして、無駄なお金がかからないようにしているよ！

なんとなく不安…

認知症かな？

と思ったらまずは相談

「なんども同じ話をする…」

「財布など大事なものの置き場を忘れたり、なくすことが増えた…」

「できないことが増え、以前より怒りっぽくなった…」

「同じものを何度も買ってしまい、物が増えた…」

「車の運転が心配、一人暮らしの親のことが心配…」

こんなことはありませんか？

地域包括支援センターは

地域で何か活動をしてみたい

介護保険サービスを知りたい

家族会や認知症カフェについて知りたい

成年後見制度について知りたい

高齢者虐待から家族を守りたい

どこに、だれに相談していいかわからないときの、頼りになる「総合相談窓口」です

9月は、「世界アルツハイマー(認知症)月間」市役所玄関ロビーで関連資料や作品展示など開催中です！

問 高齢介護課 TEL 06-6992-1610

各包括の連絡先や
詳しいイベント情報
は26ページへ